

不動産業業況等調査（2024年1月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	5.4 p	△ 10.1 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 13.8 p	△ 9.5 p ▼
ビル賃貸業	15.0 p	15.0 p ▲

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	8.6 p ▲
不動産流通業（住宅地）	△ 12.0 p	△ 5.6 p ▼
ビル賃貸業	0.0 p	△ 2.6 p ▼

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 10.1p 悪化し 5.4p。12期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 9.5p 悪化し ▲13.8p。3期連続のマイナス水準。

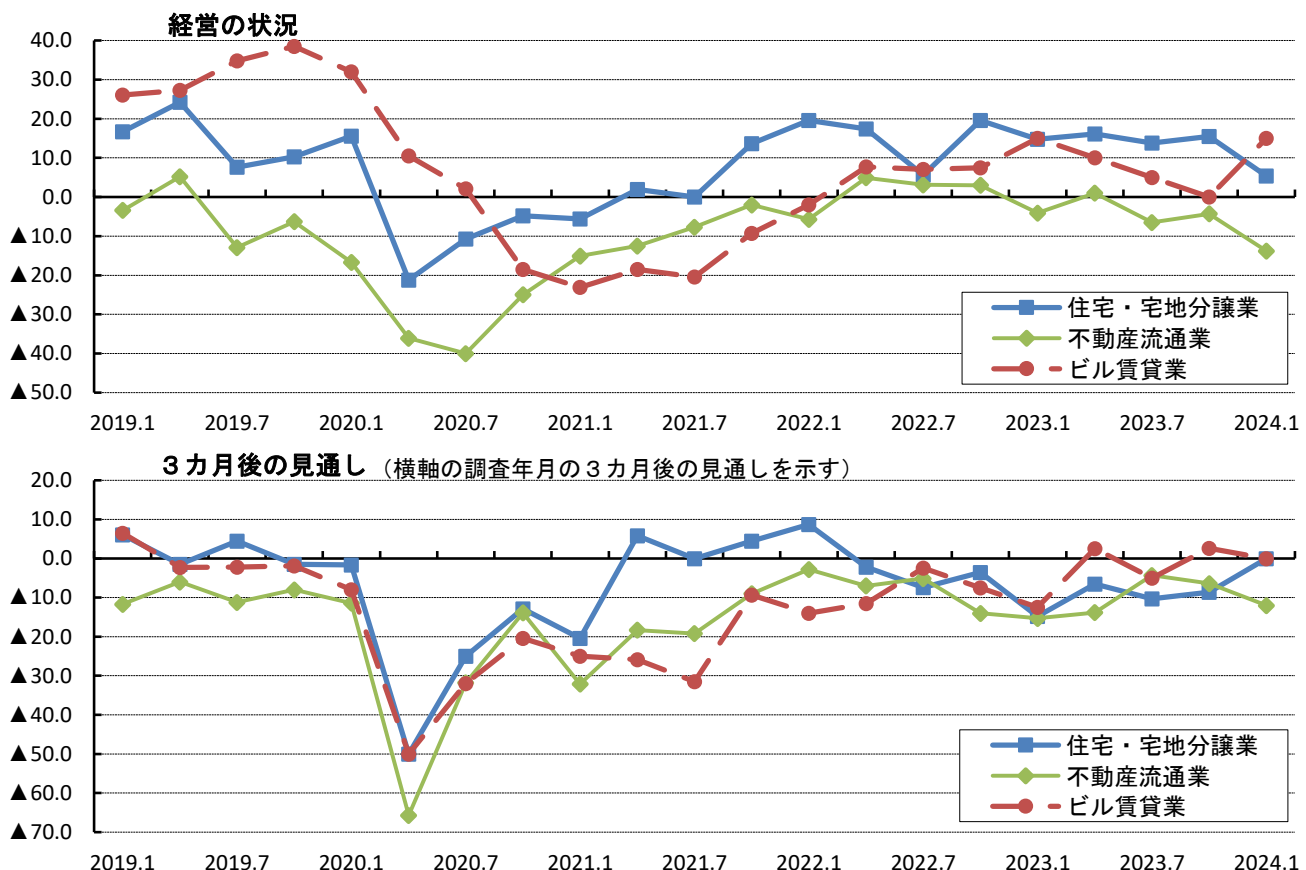
ビル賃貸業は前回から 15.0p 改善し 15.0p。8期連続のプラス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業で改善、不動産流通業、ビル賃貸業で悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第135号「不動産業業況等調査」